

教材の活用場面

活用した教材	先行事例や先行研究を調べよう (GIGA ワークブックとうきょう アドバンスト p.66～)		
教材URL	https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/giga_workbook/pdf/giga_workbook_advanced.pdf		
STEP	STEP 5	領域	B 情報活用
学校名	都立日野高等学校	校種	全日制普通科
学年	第2学年	教科等	理科(化学)
単元名	無機化学 金属元素		
活用の概要	自主的な活動を行う前に論文・データ検索サイト「CiNii」を活用し、本単元の参考になる先行事例や先行研究を検索する。その内容を参考にしながらそれぞれ調べ学習を行い、結果をまとめ全体と共有する。		

活用の様子

【ポイント1】「CiNii」を開き、本単元に活用できる論文を検索



「先行事例や先行研究を調べよう」をプロジェクトで提示し、論文検索サイト「CiNii」について説明する。どのような先行事例があるか、検索結果を実際に提示し、その後生徒は本単元に活用できそうな論文・データを検索する。

【ポイント2】一人1台端末で調べ学習し、理解度をはかる



上記の結果を PowerPoint などのプレゼンテーションソフトにまとめる。グループワークを行い、他人の意見も取り入れ調べ学習を進める。最終的には「自分がどこまで本単元の内容を理解しているか」をプロジェクトで可視化する。

授業中の活用ポイント

段階	●主な学習活動・生徒の活動	○支援・留意点■デジタル教材☆評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> ●「とうきょうの情報教育～情報教育ポータル～」の説明・「とうきょうの情報教育～情報教育ポータル～」の web ページをプロジェクトで示し、このポータルから「GIGA ワークブックとうきょう」→「先行事例や先行研究を調べよう」→「CiNii」と進めることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■一人1台端末を操作し、「とうきょうの情報教育～情報教育ポータル～」の web ページを開く。 ○「GIGA ワークブックとうきょう」の p.66～67 を読み、本単元に係る先行事例や先行研究を調べ、自身の資料作りに活用することを説明する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ●「CiNii」の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・「CiNii」のページ内で試しに検索する時間を設ける。 ●個人での活動 <ul style="list-style-type: none"> ・本単元の内容に合うようなテーマを検索し、PowerPoint などに内容をまとめ、理解を深める。 ●グループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・1クラス10班程度に分かれ、意見交換を行う。自身の調べた内容と比較し、よりわかりやすいプレゼンテーションになるよう改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■「CiNii」のページを示し、実際にある先行論文を一つ提示し説明する。 ○机間指導を適宜行い、進度によっては助言をする。 ■それぞれの理解度は Excel などを用いてリアルタイムで可視化する。 ■グループワークでは Whiteboard や ClassNotebook などの共有アプリを活用してもよい。 ○資料作成の際には、マナーとして参考文献を必ず示すことを説明する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●本授業のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・本単元における理解度を Excel などで共有し、本授業でどこまで進んだかを入力、可視化する。 ・次回の授業でさらに理解度を高めるために、自主学習などでも「CiNii」を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■気づいたことや、「CiNii」を使用した感想などを集計するために、Forms を利用した振り返りを行う。 ☆情報活用能力が身に付いているかどうか、または必要な資料を得て、それを基に作成できるかどうかなどを見て、総合的に評価する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>